

案件化調査

ルワンダ国 除菌装置「eco-PACT」による輸出用園芸作物の高付加価値化を目的とする案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業 : インパクトワールド株式会社 ■ 提案企業所在地: 東京都大田区
- サイト・C/P機関: ルワンダ国キガリ、ムサンゼ周辺
NAEB (National Agriculture Export Development Board) 国家農業輸出局



ルワンダ国の開発課題

政府は、外貨獲得可能な園芸作物(特に花卉)の輸出拡大を目指しているが、以下の様な問題が花卉の品質劣化を招き、歩留まりの低さが問題となっている。

- 農薬・肥料の不使用や水噴霧、雨季による病害虫、菌類(カビ菌等)発生
- 切り花の搬送・保管工程におけるインフラ上の不備

中小企業の技術・製品

- 除菌装置「eco-PACT」
切り花の保管工程で多量に発生するカビ菌の除菌、および農作物の腐敗を早めるエチレングスの分解を同時に叶える除菌装置。
これに合わせて、害虫・カビ菌対策に花卉栽培工程において水素水噴霧を組みあわせる提案。

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- ODA事業: 普及・実証事業
NAEBの所有する空港冷蔵設備内等に「eco-PACT」を導入し、運用方法の指導および製品の有効性を実証。また、セミナーを行うなど製品認知度向上を図り、普及の足がかりとする。
- 期待される効果
ルワンダの輸出用園芸作物の工程歩留り向上に貢献。約20%の歩留り向上で、GDPベースで約2%成長に寄与することを目指す。また、農薬や化学肥料を削減する新規農法は、有機栽培による高付加価値化を実現し、欧州市場への販売拡大が期待される。

日本の中小企業のビジネス展開

- 短期的には、製品を日本から輸出、現地代理店が販売するほか、メンテナンス企業を育成する。長期的には、現地生産を行う。
- 提案企業の海外展開計画は、農業分野ではルワンダからサブ・アフリカ市場、更に欧州花卉市場へ拡大予定。また、除菌装置は医療、食品分野にも適用可能であるため、医療機関や食品工場等への展開も検討していく。